

# 定 期 作 況 報 告

平成22年5月訂正版  
(5月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

平成22年5月定期作況報告のうち、1. 気象経過の項を次の理由により別紙のとおり訂正する。

理由：本年の日別値は日本気象協会北海道本部提供の気象情報システムから、平年の日別値は気象庁ホームページからそれぞれ入手していたが、両者の統計方法が異なることが判明した。前者のサンプリング間隔は毎正時であるのに対し、後者はアメダス運用当初の毎正時から10分、10秒間隔へと変更してきている。このため、平成22年度から、最高気温と最低気温について、両者の整合性を確保するとともに、最新の測定精度を反映させる必要があると判断し、日別値の入手先を気象庁ホームページに統一することとした。さらに、入手した日別データにより旬別、月別値を北見農試が集計してきたが、業務を簡素化して集計ミスを防ぐため、日別、旬別、月別値のすべてを気象庁ホームページから直接引用することとした。

# 1. 気象経過

## 1) 前年9月以降の経過

**9月**：上旬の最高気温は平年より低く、最低気温は平年より極めて低く、平均気温は平年より低かった。中旬の最高気温は平年並で、最低気温は平年より低く、平均気温は平年よりやや低かった。下旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年並で、平均気温は平年よりやや高かった。日平均気温の月平均は14.4℃で平年より0.9℃低かった。降水量は上旬・中旬が平年よりやや少なく、下旬は平年より少なかった（月合計71.5mmで平年の60%）。日照時間は上旬が平年並で、中旬・下旬は平年よりやや多かった（月合計181.8時間で平年の122%）。

**10月**：上旬の最高気温は平年並で、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年並であった。中旬・下旬の最高気温、最低気温、平均気温はともに平年並であった。日平均気温の月平均は8.6℃で平年より0.1℃高かった。降水量は上旬が平年より極めて多く、中旬は平年並で、下旬は平年よりやや少なかった（月合計110.0mmで平年の153%）。日照時間は上旬が平年並、中旬は平年よりやや少なく、下旬は平年並であった（月合計153.2時間で平年の95%）。なお、10月下旬の気象要素はすべて準正常値。

**11月**：上旬の最高気温、最低気温、平均気温はともに平年並であった。中旬の最高気温は平年より極めて低く、最低気温は平年並で、平均気温は平年よりやや低かった。下旬の最高気温は平年並で、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年並であった。日平均気温の月平均は0.9℃で平年より0.4℃低かった。降水量は上旬・中旬が平年より極めて多く、下旬は平年より少なかった（月合計65.0mmで平年の169%）。日照時間は上旬が平年並で、中旬は平年より少なく、下旬は平年並であった（月合計110.7時間で平年の81%）。なお、11月中旬の日照時間は準正常値。

## 2) 根雪期間中の経過

**12月**：上旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年より極めて高く、平均気温は平年より極めて高かった。中旬の最高気温、最低気温、平均気温はともに平年並であった。下旬の最高気温、最低気温、平均気温はともに平年よりやや高かった。日平均気温の月平均は-5.9℃で平年より1.2℃高かった。降水量は上旬・中旬が平年より少なく、下旬は平年より多かった（月合計40.0mmで平年の81%）。日照時間は上旬が平年並で、中旬は平年よりやや多く、下旬は平年並であった（月合計139.4時間で平年の111%）。

**1月**：上旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温、平均気温はともに平年より極めて高かった。中旬の最高気温、最低気温、平均気温はともに平年並であった。下旬の最高気温は平年より高く、最低気温は平年並で、平均気温は平年よりやや高かった。日平均気温の月平均は-7.9℃で平年より1.7℃高かった。降水量は上旬が平年より極めて多く、中旬・下旬は平年より少なかった（月合計50.0mmで平年の91%）。日照時間は上旬が平年よりやや少なく、中旬は平年より多く、下旬は平年よりやや多かった（月合計140.0時間で平年の112%）。

**2月**：上旬の最高気温は平年よりやや低く、最低気温は平年より極めて低く、平均気温は平年より低かった。中旬の最高気温、最低気温はともに平年よりやや低く、平均気温は平年より低かった。

年より低かった。下旬の最高気温、最低気温、平均気温はともに平年より極めて高かった。日平均気温の月平均は-8.6℃で平年より0.4℃高かった。降水量は上旬が平年並で、中旬・下旬は平年より少なかった（月合計7.0mmで平年の20%）。日照時間は上旬が平年並で、中旬は平年よりやや多く、下旬は平年よりやや少なかった（月合計135.0時間で平年の97%）。

**3月**：上旬の最高気温は平年よりやや低く、最低気温、平均気温はともに平年並であった。中旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年並で、平均気温は平年よりやや高かった。下旬の最高気温は平年よりやや低く、最低気温は極めて低く、平均気温は平年より低かった。日平均気温の月平均は-3.6℃で平年より0.4℃低かった。降水量は上旬・中旬が平年よりやや少なく、下旬は平年より少なかった（月合計28.5mmで平年の62%）。日照時間は上旬が平年並で、中旬は平年よりやや多く、下旬は平年並であった（月合計186.6時間で平年の117%）。

### 3) 融雪期以降の経過

**4月**：上旬の最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年より高く、平均気温は平年よりやや高かった。中旬の最高気温は平年より極めて低く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年より低かった。下旬の最高気温は平年より極めて低く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年より極めて低かった。日平均気温の月平均は2.9℃で、平年より1.2℃低かった。降水量は上旬が平年よりやや少なく、中旬は平年より少なく、下旬は平年並であった（月合計41.5mmで平年の74%）。日照時間は上旬・中旬が平年並で、下旬は平年よりやや少なかった（月合計164.9時間で平年の102%）。

**5月**：上旬の最高気温は平年並で、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年並であった。中旬の最高気温は平年より低く、最低気温は平年並で、平均気温は平年より低かった。降水量は上旬が平年よりやや多く、中旬は平年よりやや少なかった。日照時間は上旬・中旬とも平年並であった。

なお、根雪始は平年より7日遅い12月11日、融雪期は平年と同じ4月11日で、根雪期間は平年より7日間短い122日間であった。耕鋤始は平年より7日遅い5月4日であった。

注) 降水量、日照時間についての平年値との比較表現は、平年比±20%を平年並み、±20~40%を平年よりやや多い（少ない）、±40~100%を平年より多い（少ない）、+100%以上を平年より極めて多い、とした（平成17年10月より表現方法を改訂）。

### 4) 季節表

項目 年次	初霜 月. 日	降雪始 月. 日	根雪始 月. 日	融雪期 月. 日	根雪期間 日数	耕鋤始 月. 日	降雪終 月. 日	晩霜 月. 日
本年	平成21年 10.12	10.31	12.11	平成22年 4.11	122	5.4	4.29	5.15
平年	10.9	10.29	12.4	4.11	129	4.27	5.2	5.10
比較	3	2	7	0	△7	△7	△3	5

注) 観測は北見農試（訓子府町弥生）で行い、平年値は前10か年の平均値である。

5) 気象表

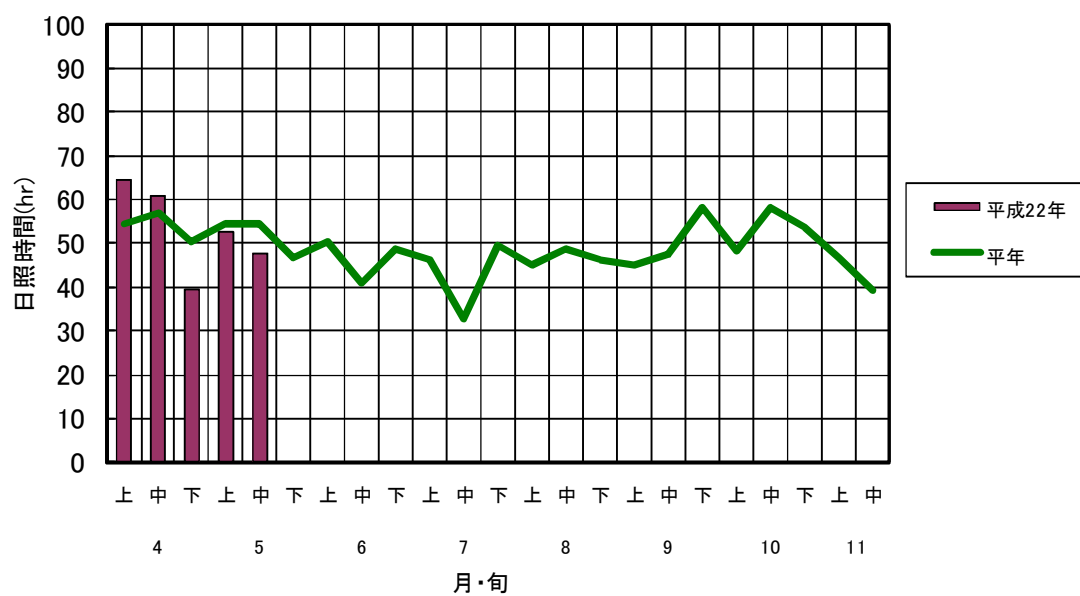
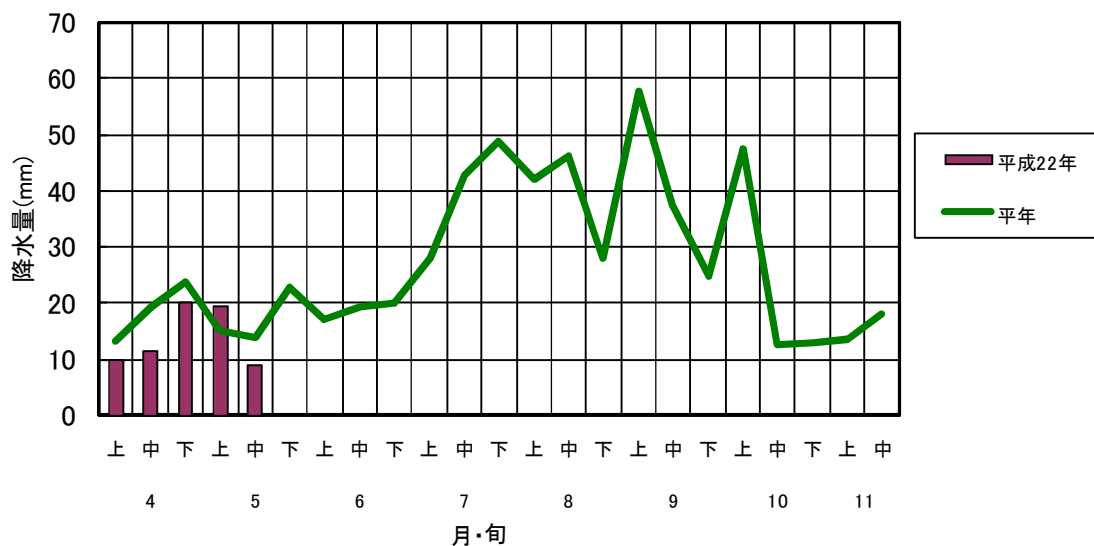
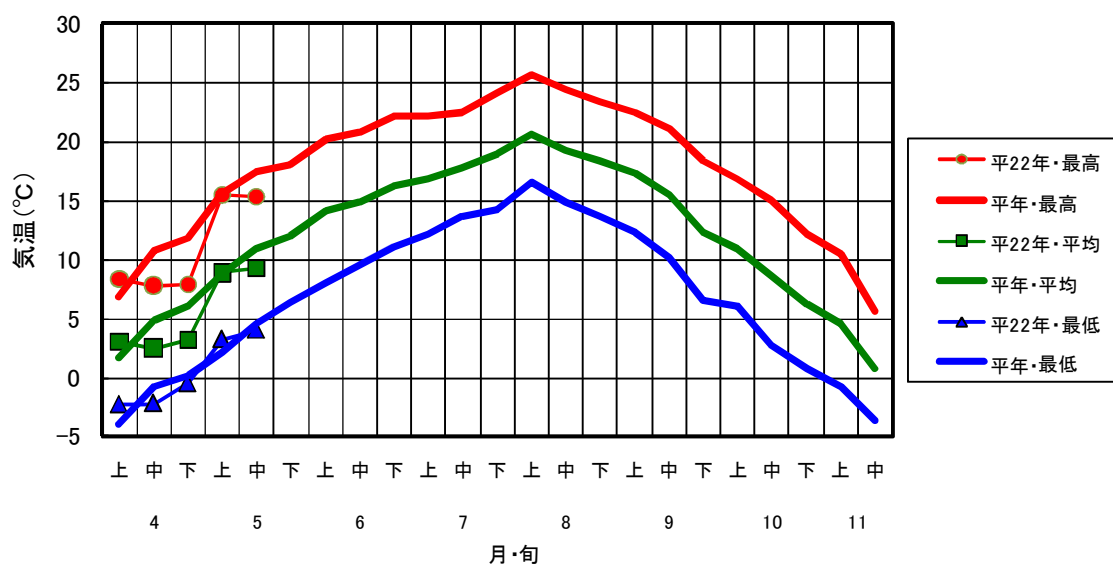
月・旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9上	15.5	17.7	△ 2.2	20.8	22.9	△ 2.1	9.7	12.8	△ 3.1	39.5	54.9	△ 15.4	48.4	46.0	2.4
9中	14.6	15.7	△ 1.1	20.9	21.2	△ 0.3	8.7	10.3	△ 1.6	28.5	36.1	△ 7.6	57.7	47.5	10.2
9下	13.0	12.4	0.6	19.6	18.3	1.3	6.6	6.7	△ 0.1	3.5	27.3	△ 23.8	75.7	56.1	19.6
10上	10.7	10.9	△ 0.2	17.0	16.8	0.2	4.8	5.9	△ 1.1	85.5	42.7	42.8	55.8	48.3	7.5
10中	8.5	8.5	0.0	14.7	14.9	△ 0.2	2.4	2.5	△ 0.1	11.5	12.6	△ 1.1	44.9	58.7	△ 13.8
10下	6.8	6.3	0.5	12.4	12.3	0.1	0.8	1.0	△ 0.2	13.0	16.9	△ 3.9	52.5	54.3	△ 1.8
11上	4.5	4.4	0.1	10.8	10.3	0.5	-0.5	-0.8	0.3	26.0	12.0	14.0	45.1	47.6	△ 2.5
11中	-0.6	0.9	△ 1.5	3.0	5.9	△ 2.9	-4.0	-3.7	△ 0.3	38.0	15.1	22.9	20.8	41.6	△ 20.8
11下	-1.3	-1.4	0.1	3.8	4.1	△ 0.3	-5.7	-6.3	0.6	1.0	11.5	△ 10.5	44.8	47.6	△ 2.8
12上	-2.5	-5.4	2.9	1.3	0.1	1.2	-6.5	-11.1	4.6	7.5	14.4	△ 6.9	43.5	41.7	1.8
12中	-7.5	-7.1	△ 0.4	-1.6	-1.4	△ 0.2	-12.3	-12.6	0.3	3.5	17.4	△ 13.9	49.2	39.9	9.3
12下	-7.6	-8.5	0.9	-1.8	-2.7	△ 0.9	-13.2	-14.6	1.4	29.0	17.7	11.3	46.7	44.0	2.7
1上	-5.3	-8.8	3.5	-1.2	-2.6	1.4	-10.2	-14.8	4.6	45.5	19.3	26.2	24.5	38.6	△ 14.1
1中	-9.8	-10.3	0.5	-4.0	-4.5	0.5	-16.6	-16.2	△ 0.4	0.5	16.7	△ 16.2	53.8	37.6	16.2
1下	-8.6	-9.8	1.2	-1.7	-3.9	2.2	-16.6	-16.2	△ 0.4	4.0	19.0	△ 15.0	61.7	48.5	13.2
2上	-11.4	-9.6	△ 1.8	-4.6	-3.5	△ 1.1	-18.9	-16.2	△ 2.7	4.5	3.9	0.6	46.6	51.4	△ 4.8
2中	-10.9	-9.3	△ 1.6	-3.8	-3.2	△ 0.6	-17.4	-16.0	△ 1.4	0.0	18.8	△ 18.8	55.2	41.7	13.5
2下	-2.4	-8.0	5.6	2.3	-1.6	3.9	-9.1	-15.3	6.2	2.5	13.1	△ 10.6	34.2	47.4	△ 13.2
3上	-5.9	-6.0	0.1	-1.0	-0.2	△ 0.8	-12.5	-12.7	0.2	11.0	17.2	△ 6.2	58.8	50.9	7.9
3中	-2.0	-2.9	0.9	3.7	2.4	1.3	-9.1	-9.3	0.2	8.0	11.7	△ 3.7	71.6	51.3	20.3
3下	-2.8	-0.8	△ 2.0	2.4	3.9	△ 1.5	-8.5	-5.9	△ 2.6	9.5	17.1	△ 7.6	56.2	57.9	△ 1.7
4上	3.0	1.6	1.4	8.3	6.8	1.5	-2.3	-4.0	1.7	10.0	13.3	△ 3.3	64.6	54.4	10.2
4中	2.5	4.8	△ 2.3	7.8	10.8	△ 3.0	-2.2	-0.8	△ 1.4	11.5	19.2	△ 7.7	60.9	56.8	4.1
4下	3.2	6.0	△ 2.8	7.9	11.9	△ 4.0	-0.5	0.2	△ 0.7	20.0	23.9	△ 3.9	39.4	50.6	△ 11.2
5上	8.9	8.8	0.1	15.5	15.7	△ 0.2	3.2	2.2	1.0	19.5	15.3	4.2	52.7	54.6	△ 1.9
5中	9.3	10.9	△ 1.6	15.3	17.4	△ 2.1	4.0	4.6	△ 0.6	9.0	13.9	△ 4.9	47.8	54.7	△ 6.9

注) 観測値は気象庁ホームページで公開している置戸町境野のアメダスによる。

本年の値は確定前の速報値を含む。平年値は前10か年の平均値である。

なお、本年欄の値は平成21年度まで、日本気象協会北海道本部提供の日別データにより旬別、月別値を北見農試が集計してきたが、アメダスのシステム更新による精度向上を反映させるため、平成22年度本報告より日別、旬別、月別値のすべてを気象庁のホームページから直接引用することとした。詳細は<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/kaisetu/index.html>を参照。

6) 気象経過のグラフ



## 2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

### 1) 秋まき小麦 作 況：平年並

事 由：播種は平年より3日早く行った。播種後の気象条件は良好で、出芽期は平年より2日早かった。昨年9月中下旬の降水量は平年より少なく土壌が乾燥気味であったため、出芽はややばらついた。しかし、10月以降は適度な降雨があり、気温もほぼ平年並に推移したため、生育は斉一となった。越冬前の草丈は平年をやや下回り、茎数はやや多かった。根雪始は平年より7日遅く、根雪期間は平年より7日短かった。調査圃場は融雪剤を散布したため、観測点より2週間程度融雪が早まった。雪腐病の発生はごく軽微で、生育への影響は無かった。融雪期以降、低温傾向が続いたことから、草丈は平年よりやや低い茎数はほぼ平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ホクシン		
	本年	平年	比較
播種期 (平成 21 年月. 日)	9. 15	9. 18	△3
出芽期 (平成 21 年月. 日)	9. 23	9. 25	△2
草丈(cm) (平成 21 年 11 月 18 日)	17. 3	18. 9	△1. 6
草丈(cm) (平成 22 年 5 月 20 日)	35. 2	39. 3	△4. 1
茎数(本/m <sup>2</sup> ) (平成 21 年 11 月 18 日)	1925	1724	201
茎数(本/m <sup>2</sup> ) (平成 22 年 5 月 20 日)	1443	1393	50

注) 平年値は前7か年中、平成15年(最豊)、18年(最凶)を除く5か年の平均。

## 2) 春まき小麦 作 況：平年並

事 由：融雪期は平年並の4月11日であった。播種期は平年より3日早い4月19日となった。播種後は4月下旬の気温が平年より極めて低く推移したため、出芽期は平年より1日遅かった。出芽後も5月中旬の気温が平年より低く推移したことから、草丈、茎数は平年をやや下回っているが、生育はほぼ順調である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ハルユタカ			春よ恋		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	4.19	4.22	△ 3	4.19	4.22	△ 3
出芽期 (月.日)	5.6	5.5	1	5.6	5.5	1
草丈(cm) (5月20日)	12.3	14.2	△ 1.9	13.2	14.8	△ 1.6
茎数(本/m <sup>2</sup> ) (5月20日)	322	357	△ 35	332	371	△ 39

注) 平年値は前7か年中、平成18年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

## 3) てんさい 作 況：やや不良

事 由：移植栽培の播種は平年より5日早い3月17日に行い、育苗中の生育は順調であった。移植は平年より2日早い5月6日に行った。移植後の低温により活着は遅れ、生育はやや停滞気味である。直播栽培では播種は平年より2日早い5月6日に行ったが、播種後低温に経過したため出芽期は平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	3.17	3.22	△ 5	3.17	3.22	△ 5	5.6	5.8	△ 2
移植期 (月.日)	5.6	5.8	△ 2	5.6	5.8	△ 2	—	—	
出芽期 (月.日)	—	—		—	—		5.19	5.19	0
草丈 (cm)	4.5	—		4.4	—		—	—	
生葉数 (枚)	4.0	—		3.8	—		—	—	

注) 平年値は前7か年中、17年(最豊)、平成19年(最凶)を除く5か年の平均。

草丈および生葉数は、本年から調査開始したため、平年値はなし。



4) 牧草(チモシー)

作況：やや不良

事由：融雪期は4月11日と平年並であったが、融雪後4月中旬と下旬の気温が平年より低く推移したことから、萌芽期は平年より12日遅い5月1日であった。冬損程度は平年並、5月18日現在の被度は100%であったが、草丈は平年を大きく下回った。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	ノサップ		
	本年	平年	比較
萌芽期 (月.日)	5.1	4.19	12
冬損程度	1.8	1.6	0.2
被度(%) (5月18日)	100	100	0
草丈(cm) (5月18日)	24	36	△12

注) 平年値は前7か年中、平成16年(最豊)、21年(最凶)を除く5か年の平均。

冬損程度は1:無または微~9:甚。

5) たまねぎ

作況：平年並

事由：播種は、早生種「改良オホーツク1号」では平年より4日早い3月2日、晩生種「スーパー北もみじ」では平年より2日早い3月9日に行った。播種後の平均気温は平年並からやや高く経過したため、出芽期は、両品種とも平年より3日早かった。育苗期間中は低温に推移し、苗の生育は緩慢であった。移植は、「改良オホーツク1号」は平年より3日遅い5月11日、「スーパー北もみじ」は平年より6日遅い5月18日に行った。移植時の苗質は、両品種とも、草丈は平年に比べて短いものの、生葉数及び葉鞘径はほぼ平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	改良オホーツク1号			スーパー北もみじ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	3.2	3.6	△4	3.9	3.11	△2
出芽期 (月.日)	3.16	3.19	△3	3.21	3.24	△3
移植期 (月.日)	5.11	5.8	3	5.18	5.12	6
草丈(cm) 移植時	19.6	25.5	△5.9	20.9	24.6	△3.7
生葉数(枚) 移植時	3.2	3.2	0	3.5	3.2	0.3
葉鞘径(mm) 移植時	3.3	4.1	△0.8	4.3	4.0	0.3

注) 平年値は前7か年中、平成17年(最豊)、20年(暴風雨被害により成績を参考扱いとしたもの)を除く5か年の平均。